Interview 01

株式会社スマートアグリカルチャー磐田

Smart Agriculture iwata

Introduction: システムの力で社会課題にアプローチすることを掲げ、設立されたスマートアグリカルチャー磐田。日照量日本一である磐田市の強みを生かして農業を行うとともに、システムの力を活かして、これまでの農業に変革を起こす試みを行っています。今回は代表取締役社長の須藤毅氏に、プロジェクトの概要やイーサポートリンクとの関係性について、お話を伺いました。

代表取締役社長　須藤 毅 氏

お客さままでは、システムでつながれる。

農家にとって、「お客さま」とは誰のことでしょうか。生産物を誰が直接買ってくれるかを基準に考えれば、農協や流通業者がお客さまということになります。しかしその野菜や果物を実際に食べるのは、農協でも流通業者でもありません。口にするのは、消費者の皆さまです。農家にとってのお客さまとは、実際に食べる人のことなのだと思います。そう考えると「農業を変えたい」と考えたときには、消費者にとってよりよいものが手に入るように変わっていかなければ意味がありません。つまり、農家だけを変えようとしてもダメなのだということです。消費者に生産物が届くまでの過程すべて、農家だけでなく、農協や流通業者、種苗業者も、小売店もです。すべてをトータルにとらえて、「食」というカテゴリー全体での改革を意識しなければ、業界を変えてはいけないのだと感じています。

スマートアグリカルチャー磐田が、業界を変えていくために意識していることは、業界全体の「つながり」をつくることです。たとえば、種苗業者から消費者までの製品の流れを全体で変えていこうという意識があまり見られず、農家は農家、流通は流通と断絶してしまっていること。農家それぞれが独自の農業技術を守ろうと固執してしまい、他の農家と協業することで起こりうるイノベーションの芽を潰してしまっていることがあります。この業界は、つながりがないゆえに陥ってしまっている課題がたくさんあるのです。そこを変えていくのに、システムは必ず貢献できるはずだと考えています。

スマートアグリカルチャー磐田は広大な敷地に複数のハウスが建ち並ぶ

広大なハウス内で行うパプリカ栽培

システムで得られる、時間とノウハウ。

私たちは、富士通株式会社を母体として設立された企業で、元々はシステムのプロフェッショナルです。しかし、農業や食についてはほとんど知識のないところからスタートしました。食の流通に関するプロであり、システムのプロである、強力なパートナーが必要だと考えていたときに出会ったのが、イーサポートリンクです。私たちと同じく、この業界を変えていかなければという高い意識を持ち、もちろん実績もありました。ぜひにと、サービスの導入をお願いすることにしたんです。ただシステムを提供してもらうだけでなく、オペレーションをお願いしています。プロにお願いすることイコール何が得られるかというと、ノウハウもそうなんですが、時間です。本来イチからやると10年から20年かかるところを、サービスの導入により、時間とノウハウを一度に手に入れられたことが最大のメリットだと感じています。

入力サポートを行うイーサポートリンク担当者

ベテラン農家のスキルを、システムで、より正確に。

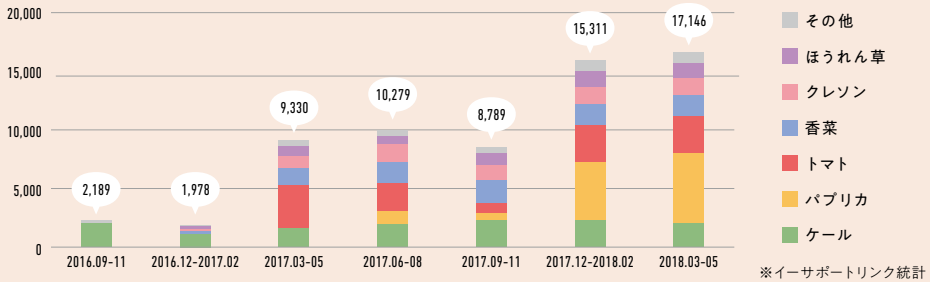
具体的にシステムを利用する中で、主に役立っているのは、私たちが敷地内で生産しているトマトやパプリカなどの、受発注のオペレーション部分です。ただ単純にシステムを使わせていただいているという領域にとどまらず、ビジネスプロセスをアウトソーシングするというところまで踏み込んで対応いただいています。野菜の栽培というのは非常に繊細で、ちょっと雨の日が続けば予定通りの出荷量に大幅に届かなくなってしまいますし、逆に気温が高い日ばかりだと想定以上に収穫できてしまったりします。これまではそれらを穫れただけそのまま、流通業者に卸すしかありませんでした。しかしシステムを使えば、獲れ高が少なくなる予測ができたときはそもそもの受注をストップさせることができますし、多く収穫できそうになったときは買い取ってくれる業者へ金額や買い取り量を早めに交渉することができます。これまではそれらがほとんど、人の感覚で行われていました。

出荷に向けた包装作業

何年と経験を積まなければできないことです。しかしシステムを活用することで、予測がより正確にできるようになったり、業者同志の連携を迅速に行うことができたりします。イーサポートリンクから担当者を迅速に行えていますので、ノウハウを享受しながら、少しずつ農家としての進化を実感できています。こういった取り組みがさらに進んでいけば、私たちがモデルケースとなって他の農家にもこのようなシステムを導入しようという動きが生まれるでしょうし、その輪が広がることで、もっともっと、日本の農業、食の全体が変わっていくことを期待しています。

お客さまの事業拡大をサポートする。

2016年の秋より、スマートアグリカルチャー磐田様へのサービス提供を開始しました。当初はケールのみで、トランザクション件数もわずかでした。その後、スマートアグリカルチャー磐田様の事業拡大により取扱品目がトマト、香菜、ホウレンソウと増加。品目数に従って、トランザクション件数も、現在は事業開始時と比較して8倍以上の規模となっています。



※イーサポートリンク統計